

令和2年度 宇都宮市立陽西中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

【基本目標】

国、県、市の方針や地域の実態を踏まえるとともに、「人間尊重の精神」を基盤として、個性豊かで情操に富んだ人間として、平和で民主的な社会の発展に貢献できる日本人の育成を目指す。

【生徒の指標（生徒の信条）】

- 敬愛の心があつく心情豊かな生徒
- よく考え主体的に行動できる生徒
- 体力気力の充実した健康な生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

第2次宇都宮市学校教育推進計画にある目指す学校の姿「誰もが安心して学べ、活力にあふれる学校」を理念として学校経営に努める。

- (1) 本年度テーマを「温もりのある学校・やる気あふれる学校・外へ開かれた学校」とする。学校マネジメントアンケート回答から、本校においては、温かなそして温もりを感じられる校内環境と人間関係を必要としていることがうかがえた。そして、そのような環境の中で、生徒一人ひとりが自己肯定感を高め、やる気あふれる学校づくりを目指す。また、地域とともにある学校づくりを進めるために、外へ開かれた学校をテーマに、よりよい生徒の育成に取り組んでいく。
- (2) 小中一貫教育の柱を、児童生徒指導の基本である「自己指導能力の育成」とし、「共に学びあい、互いのよさを認め合う人づくり」をテーマに、社会的自立を目指すキャリア教育を推進し、「自己の『よさ』を活かし粘り強く頑張る子ども」を育てる。
- (3) 「目指す教職員像」にせまるため、コンプライアンス研修、各教科経営計画の継続的な見直しを含む研修、生徒理解を深めるための研修等を短時間であっても効果的に行うことにより、下記の信頼される教員集団を形成する。
 - ① 公教育に従事する者としての自覚と使命感にあふれる教職員
 - ② 生徒の個性を尊重し、共にのびてゆく教職員
 - ③ 厳しく、温かく、公平で、信頼される教職員
 - ④ 常に研究と修養に励み、健康で魅力あふれる教職員
 - ⑤ 目標達成への意欲と創造性に富む教職員

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 温もりのある学校づくり
 - ・校舎内・校庭等における環境美化に努める。
 - ・校舎内、廊下、壁面等の掲示物の充実に努める。
 - ・生徒・保護者・教員相互の望ましい人間関係づくりに努める。
- (2) やる気あふれる学校づくり
 - ・規範意識の育成に努める。 ・ 自己肯定感の育成に努める。
 - ・時と場に応じたあいさつやマナーの育成に努める。
 - ・生徒の個性に合わせたきめ細やかな指導・支援に努める。（特別支援教育の推進）
 - ・心の教育の推進といじめを許さない集団作り、人間関係構築力の育成に努める。
 - ・リーダーの育成と生徒相互が支え合う集団作り（含 生徒会活動の活性化）に努める。
 - ・わかる授業の展開に努める。
- (3) 外に開かれた学校づくり
 - ・保護者や地域、関係機関・団体等との連携を密にし、相互の信頼関係に立って本校の教育にあたりとともに、開かれた学校づくりに努める。
 - ・学校ホームページを効果的に活用し、情報の発信に努める。
- (4) 実効性のある小中一貫教育を推進する。

[陽西地域学校園教育ビジョン]

自己の「よさ」を活かし、粘り強く頑張る子どもの育成
～社会的自立を目指すキャリア教育を通して～

4 教育課程編成の方針

- (1) 関係法令、学習指導要領、第2次学校教育推進計画、第2次宇都宮市学校教育スタンダード、令和2年度指導の重点に基づき、地域の実態や生徒の発達段階、特性を考慮した特色ある教育活動を展開し、公教育の自覚のもとに、全教職員の理解と協力によって、本校の教育目標の実現を期す教育課程とする。
- (2) 自己実現のための意欲の向上を図るキャリア教育の推進を教育課程に位置づけ、総合的な学習の時間、特別活動、道徳科での指導を工夫し、地区内小学校とのつながりがもてる社会性育成のプログラムとする。
- (3) 教育活動全体を通じてガイダンス機能の充実を図り、生徒のより良い適応を目指し、学級活動や特別活動の効果を学習意欲向上に生かせるように努める。
- (4) 教科主任会、各教科部会、学年会、校内研修において、一人ひとりの生徒に確かな学力をつけられるよう、指導計画と評価計画に基づいた学習指導法の工夫を検討するとともに、補充学習、夏季休業中の学習支援の実施や、家庭学習の定着に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- ・学校の組織力の強化と生徒への指導・支援の充実

【学習指導】

- 「対話」を通して思考を深め、主体的に学ぶ生徒の育成

【児童生徒指導】

- ・きまりを守り、正しい判断のもと主体的に行動する生徒の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・健康を大切にし、元気に生活できる態度の育成

【働き方改革】

- ・毎月2回の「学校リフレッシュデー」実施（退勤時間の設定、校内完全消灯と施錠）

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① ○「対話」を意識した授業づくりに努め、「学び合う」ことで学習が深められるような授業の展開を工夫し、実践する。 ② 定期テスト前の質問学習やテスト後の補充プリントの作成、学習サポート、教科部会の効果的实施等学校体制として取組む。 ③ 自主学習ノートの指導を通して、家庭学習の習慣化を図る。		
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 道徳の授業を通して、思いやりの心について考えさせる。 ② 道徳の年計を見直し、道徳の授業と学校行事を関連させたり、体験活動を位置付けたり、様々な体験を想起させたりすることで、道徳的实践につながるようにする。 ③ 生徒の良さを褒めて伸ばす教育をすることにより、自己肯定感を育む。		

A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① チャイム着席，授業の開始・終了時のあいさつができるようにするとともに，服装や姿勢を整えて授業に臨めるよう指導する。 ② 教職員の共通理解，共通指導の充実を図る。さらに，きまりの遵守やマナー向上の意識を高めさせる取組を教科指導はもちろん，生徒主体で行うようにさせるなど，内容を工夫して実施する。	
A 4 生徒は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 時と場に応じた心のこもったあいさつの仕方についての指導を充実させるとともに，本校のよき伝統として継承していく。 ② 日常の生活の中でのあいさつ指導に加え，生徒会各委員会や部活動等による，生徒主体のあいさつ励行を推進する。	
A 5 生徒は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 学年・学級・生徒会専門委員会・部活動ごとに目標を決めたり，学校行事のスローガンを設定したりすることにより，目標を明確にするとともに，協力して目標に向かって努力する態度を育成する。 ② ○キャリア教育の充実を図りながら，自分の良さや個性を理解し，将来の夢をもたせ，夢の実現に向かってあきらめずに努力する態度を育成する。 ③ 各学級・専門委員会・部活動において，振り返りを行わせ，生徒自らの取組を今後に生かす指導を充実させる。	
A 6 生徒は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 「うつのみや元気っこプロジェクト」を活用するなど，食育や体育的活動の充実を図り，自分に合ったバランスのよい食生活をするとともに，体力増進に努めるなどして，健康な生活ができるようにする。 ② 「交通安全教室」「薬物乱用防止教室」「がん教育講演会」「いのちの授業」「性教育出前講座」等を実施して，健康や安全への意識の向上を図る。	

A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 各教科・道徳・総合・特別活動等学校教育全体を通して、基礎的・汎用的応力の育成に努め、キャリア教育を推進する。 ② キャリアパスポートの作成を通して、自分と社会のつながりを意識したり、未来の自分のイメージを持つことにつなげさせる。	
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① 英語科の授業において、英語で伝え合うことの楽しさが味わえるような言語活動を多く取り入れる。 ② A L Tの各学級への給食訪問や学校行事等への参加を通して、生きた英語に触れる機会を充実させる。	
A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① 生徒が地域でのボランティア活動に積極的に参加し、地域の人々との交流を図りながら、地域に関心を持ち、地域の良さを知ることができるように充実を図る。 ② 「総合」の学習に地域を知る活動を取り入れる。 ③ 給食の献立に「地産地消」の食材を用いるようにし、栄養教諭による献立の説明で宇都宮の農産物について理解・関心を深めさせる。	
A 10 生徒は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① 各教科や「総合」の時間に、図書館司書と連携を図りながら、パソコン室や図書館を積極的に利用するようにする。 ② 生徒会専門委員会の活動を工夫して、I C T機器や図書館の利用促進を図るとともに「まなびポケット」の全クラス講習会を行う。 ③ N I E活動を推進し、新聞に親しむ態度を育成する。	
A 11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① 道徳・家庭科の授業において高齢者や弱い立場の方などへの感謝やいたわりの心を醸成する題材を扱う中で、生徒の心を育む。 ② 総合的学習の時間の中で、高齢者疑似体験等の体験活動を取り入れる。	

目指す学校の姿	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 学級活動等において、SDGsについての理解を深めるとともに、NIEの活動を通して、新聞を用いて、環境問題や防災等について学ぶようにする。 ② 環境問題に関心をもたせるために、節電・節水に努めさせるなど、身近なところからできることを見つけて実践させる。 ③ 生徒会ボランティア委員会によるリサイクル活動を推進する。	
	B1 生徒は、体育祭、文化祭、地域ボランティア活動に積極的に参加し、協力して活動している。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① 自主的・実践的な態度をはぐくむため、体育祭や文化祭等の学校行事に、生徒の意見や創意工夫を取り入れるようにする。 ② 地域のボランティア活動を推進するための働きかけを積極的に行うとともに、活動の成果を掲示するなどして、生徒の自己有用感を高める。	
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 特別な支援を必要とする生徒について、必要に応じて指導カルテを作成したり、ケース会議を実施したりして、適切な支援ができるようにする。 ② 生徒指導部会や教育相談部会で、生徒の状況について情報の共有を図ったり、対応策を検討したりする。 ③ ユニバーサルデザインについての研修を深め、授業の中に取り入れることにより、合理的配慮への意識の向上を図る。	
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 保護者の肯定的回答 80%以上	① 「いじめはどの生徒にも起こりうる」との認識の下、未然防止の取組の充実を図り、いじめの起こらない環境づくりに努める。 ② 生徒が相談しやすい環境を整備するとともに、教職員は生徒理解を深め、信頼関係の構築に努力することで、いじめの早期発見に努める。 ③ 「いじめ根絶集会」を実施するなど、いじめ防止対策についての取組をより充実させる。さらに、教職員のいじめ防止に対する意識といじめに関する対応力を向上させるために校内研修を充実させる。	

A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 保護者の肯定的回答 80%以上	① スタンダードダイアリーを活用したり、教育相談を行ったりして、生徒一人一人に寄り添った指導をする。 ② 保護者との電話連絡や必要に応じた家庭訪問を行うなどして、家庭との協力関係を構築する。 ③ 気になる生徒の早期発見，早期対応を心がけ，校内支援体制を活用して，新たな不登校の生徒を生まないよう支援する。	
A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 日本語指導が必要な生徒の個別指導計画を作成し，日本語指導ボランティアと連携を図って指導にあたる。 ② 家庭との連携を密にしながら，生徒や保護者のニーズを確認し，学校生活や進路相談等がスムーズになされるよう支援する。	
A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① 学校行事等を通して，生徒が目的意識をもって協力しながら主体的に活動して達成感や自己肯定感を得られるような場を設定し，活動を支援する。 ② 生徒会活動を通して，生徒の自主的な活動を推進するとともに，委員会活動の活性化を図る。 ③ 学級経営や教育相談を充実させ，「居がい」のある明るい学校づくりに努める。	
A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① 個に応じたきめ細かな指導を行う。数学科及び英語科においては，習熟度別学習やT・Tなど，指導形態を工夫し，学力を向上させる。 ② 日々の授業で，学びのサイクル「つかむ」「学び合う」「まとめる」「振り返る」の効果的な活用を心がけ，生徒が主体的に深く考え，取り組めるような授業の展開を実践する。英語科・数学科では，習熟度別学習やT・Tなどの指導形態を取り入れ，個に応じた指導にあたる。	

A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① SC, MS, かがやきルーム指導員、学校図書館司書等との連携を強化しながら、チームとして生徒の状況の把握と支援に努める。 ② 配慮を要する生徒について、多様な立場や観点からの生徒の見取りや専門的な知見を、指導に生かす。	
A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 教職員一人一人が、ミライムを活用して出退勤時刻の記録を確実に行うようにする。 ② 業務の効率化を図るとともに、会議や研修等の効率化と内容の精選を図る。 ③ 定期的に「リフレッシュデー」を設定したり、部活動の休養日を設けたりして、教職員の負担が軽減できるよう配慮する。	
A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① ○小中一貫教育について教職員がさらに理解を深め、生徒や職員の交流や連携による実践(あいさつ運動)を行う。 ② ○小中一貫各部会において、業務の精選を図るとともに、児童生徒の課題を的確に把握し、必要に応じて連携を図る。(次年度の地域学校園テーマ設定)	
A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 望ましい職業観や勤労観を養うために、地域や家庭、外部機関や企業等との連携・協力を深めた授業や体験活動を行う。 ② 「よさこい踊り」や「苗植え・稲刈り体験」「わかくさ特別支援学校との交流」、「地域のボランティア活動」等を継続、充実させ、地域のよさを感じ取ったり地域の一員としての自覚を高めたりさせる。	

A 23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 保護者の肯定的回答 80%以上	① 学校ＨＰや学校だよりを活用して積極的に情報発信を行い、学校の教育活動に対する理解と協力が得られるようにする。 ② 家庭訪問、保護者会、三者懇談、オープンスクールなどさまざまな機会をとらえて、家庭や地域との連携を図る。 ③ 陽西中学校地域協議会との連携を図り、地域の祭りや清掃などの奉仕活動に積極的に取り組むようにする。	
A 24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 安全点検を、毎月確実に行うとともに、改善箇所の修繕を迅速に実施する。また、避難訓練の実施方法を見直し、より実践的な態度の育成を図る。 ② 台風や地震、大雨などの自然災害発生時には、校舎内外の巡視を行い、危険回避に努めるとともに、危険箇所の発見と早期対応ができるようにする。 ③ 事務部と連携して、学校予算の適切な運用を図り、環境整備に努める。	
A 25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 図書選定委員会を計画的に開催し、学習に必要な図書を整備する。 ② 教員のＩＣＴ活用能力を高めるために、教職員の研修を行う。 ③ 授業等で活用しやすいように、ＩＣＴ機器の適切な管理を行う。	
B 2 学校は、授業以外に、さまざまな学習の場を工夫して設定し、学力向上に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 教職員の肯定的回答 80%以上	① 基礎学力の定着、学力の向上を目指し、放課後のレベルアップ学習、夏休み学習サポート、土曜日学習サポートを実施する。実施方法に改善を加え、より効果的な運営に努める。 ② 地域協議会と連携した、学力向上のためのサポート事業を企画、運営する。	

本校の特色・課題	B3 学校は、教室や廊下の提示物を工夫したり花壇を整備したりして、環境美化に努めている。 【数値指標】 全体アンケート 保護者の肯定的回答 80%以上	① 生徒の心を育てるための、フラワープロジェクトを推進する。 ② 美化委員会及び、各学年委員会を中心とした役割分担を明確にして、主体的に活動に参加できるようにする。 ③ 各学年フロアの掲示物を工夫しながら、計画的に作成する。		
	B4 生徒は、交通ルールを守って、安全に行動している。 【数値指標】 全体アンケート 生徒の肯定的回答 80%以上	① 教職員による登下校時の交通指導や見守りをより充実させる。また、交通ルールの遵守や交通マナーの向上については、学年や学級で繰り返し指導する。 ② 生徒の意識を高めるために、交通安全教室に外部指導者を招聘するなど、内容を工夫する。		

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。